

第2回協議会での委員意見・対応状況

*該当頁・・・第2回:2025年8月20-28日第2回協議会資料「骨子案」

| 番号 | *該当頁 | 該当項目 | 委員 | 意見の内容 | 対応方針 | 反映内容 | 本編 初版頁 | 反映項目 | 関係課 |
|----|-----------|------|----|---|--|---|----------------------|-----------------------|--------------------------|
| 18 | 第2回 9 | | 高宮 | Ⅲ-1(3) 新しくなった熊本市立金峰山自然の家の活用など、熊本市としての特徴が入れられないか。 | | みちくさ館に並列して記載します。 | P45 | Ⅲ-2 推進方策(3) | みどり 政策課 みどり 公園課 |
| 19 | 第2回 9 | | 勝木 | 「①公益的機能を十分に発揮させる森林整備・管理 において、公益的機能として「地球環境保全(二酸化炭素吸収等)」という記載は既にある。これに「適切な手入れによりCO2吸収量の維持・拡大を図る」などの記述を追加」 としているが、基本的に公益的機能と木材等生産機能は両立しない。「適切な手入れによりCO2吸収量の維持・拡大を図る」を加えるとすれば、「②木材生産の可能な箇所における間伐等の適正な実施」の部分が適切。 | ②に追加します。 | 以下趣旨の文言を追加します。 「適切な手入れにより二酸化炭素吸収量の維持・拡大を図る」 | P39 | Ⅲ-1 方向性(1)② | みどり 政策課 |
| 20 | 第2回 9 | | 勝木 | ⑥地球環境保全機能(二酸化炭素吸収等)」を追加し、・・・ 追加すること自体には問題ないかと思うが、追加すると林野庁が示す7つの公益的機能のうち、6つを記述することになる。残りは「快適環境形成機能」で、市街地ではきわめて重要な機能となるので、これもあわせて追加すべき。 | 地球環境保全機能と快適環境形成機能について記載します。 | それぞれの<森林の姿>と<整備の概要>を追記します。 ゾーニング図にはすべてに共通する機能として追記します。する | P47~ 49 P12,83 | Ⅲ-3(1) 図3、第2章図1 | みどり 政策課 みどり 公園課 |
| 21 | 第2回 9 | | 勝木 | 「成長過程でのCO2吸収量を最大化することを施業の目的として追加」 とあるが、CO2吸収量を最大化するためには、スギの20~30年での短伐期施業を選択することになり、多面的機能の高度発揮としてはそぐわない。この部分にCO2吸収量を加える必要はない。 | 短伐期施業を選択することが趣旨ではないので、「成長過程でのCO2吸収を促進する」といった記載にとどめます。 | 以下趣旨の文言を追加します。 「成長過程でのCO2吸収を促進する」 | P49 | Ⅲ-3機能区分ごとの 目指す姿(2) | みどり 政策課 |
| 22 | 第2回 9 | | 勝木 | 「CO2吸収量については、検証指標としての追加等は行わないが、参考値としての算定・把握を試みる」 とあるが、スギ・ヒノキ人工林以外のタイプの森林は、CO2吸収量の算定が困難。針葉樹人工林に限定すると良い。 | ご意見のとおり針葉樹人工林に限定する方向で、今後検討していきます。 | — | | | みどり 政策課 |
| 23 | 第2回 12 | | 勝木 | 「所有者不明森林への対応の検討」 において、現況は針葉樹人工林に限られているので、広葉樹林・竹林への対応も想定しなければならない ※第3回協議会にて、再度記載の要望あり。 | 森林経営管理制度は私有人工林を対象とした制度です。 まずは、喫緊の課題と捉えている、私有人工林への対応を推進したいと考えています。 ※なお、広葉樹林については、今後の、実態の把握、将来像の設定を踏まえ、その対応を検討してまいりたいと考えております。 | 天然林についても人工林と同様に、状況を把握していく必要がある旨を記載します。 | P55 | Ⅳ長期的な課題 | みどり 公園課 |

*該当頁・・・第2回:2025年8月20-28日第2回協議会資料「骨子案」

| | | | | | | | | | |
|----|-----------|--|----|--|--|--------------------------------|-----|----------|------------------------------|
| 24 | 第2回 12 | | 勝木 | 「森づくりの長期ビジョン」 において、「熊本市緑の現況図」と熊本県の森林簿などのデータを利用することを明記すると良い。また、目標林型について触れるのも良い。 | その旨、記載します。 | 各種のデータ活用や目標林型の設定も検討することを記載します。 | P55 | IV長期的な課題 | みどり 政策課 |
| 25 | 第2回 12 | | 勝木 | 第1回の会議で発言した「安全対策」について、動物被害を別とすれば、倒木や落枝などによる被害とともに、土砂災害も含めた対策の必要性を加えるべき | 土砂災害対策の必要性について認識しており、森林経営管理制度の推進により、多面的機能の発揮に向けた間伐等を推進しているところです。 | — | | | みどり 政策課 みどり 公園課 |
| 26 | 第2回 4 | | 野間 | 現行計画の実績と課題における貴市私有林人工林面積について ・1の(1)実績で「本市の私有人工林約890haを対象に」と面積の記載があるが、出典元、調査時点の明記について検討いただきたい。 ・その上で時点修正が必要であれば、今回の計画見直しのタイミングで最新の面積に更新いただくことを検討いただきたい。 | 公園課意見： 計画5IPに記載のとおり、市内の【全ての私有人工林(890ha)】を対象としています。ご指摘のとおり、森林の面積は毎年変化する為、最新の数値に修正することも考えられますが、 ●他計画において890haを目標値として設定していることから、整合を図りたいこと、 ●上記のとおり、【全ての私有人工林】を対象としていることから本質的に変わりはないこと(例:最終的にその時点の全森林として1000ha調査することもあり得る)、 以上の理由から、現時点での更新は控えたいと考えています。 | — | — | — | みどり 公園課 |
| 27 | 第2回 6 | | 田口 | 下段・(3)右 ○予算の確保や人材の掘り起こし、育成を含めた・・・ *現在、人材はある程度存在している。それを行政が把握できていない部分もあるので、「掘り起こし」を追記。 | 反映させます | — | | 骨子案 | みどり 政策課 |
| 28 | 第2回 12 | | 田口 | 下段・右 CO2の長期固定 → CO ₂ の長期固定 2は下付き表記 | 反映させます | — | | 骨子案 | みどり 政策課 |